



&



共働事業
(子どもの居場所づくり事業実行委員会)

子どもたちの夢と希望を醸成する 子どもの居場所づくり事業

事業報告会

令和8年5月25日

共働事業提案制度 事業進捗状況資料

事業の名称：子どもたちの夢と希望を醸成するこどもの居場所づくり事業
～子どもに寄り添うこども食堂～

テーマ型事業

課題テーマ：「子どもの貧困対策」

～すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していける地域をめざして～

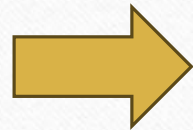
- 市担当課：こども・若者政策課
- 提案団体：特定非営利法人チャイルドケアセンター

子どもの貧困問題

子どもの貧困は深刻な社会問題です。家庭の経済状況によって子どもたちの環境が大きく異なり、教育や健康、将来の可能性に大きな影響を及ぼしています。貧困の連鎖を断ち切るため、社会全体でこの問題に取り組む必要があります。

子どもの貧困の原因

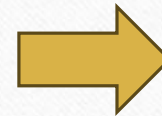
- 家庭環境の影響
- 教育の機会の差
- 社会制度の不備



地域社会の役割

- ・ 地域コミュニティ
- ・ 学校との連携
- ・ ボランティア活動
- ・ 地域拠点の活用

行政と共働



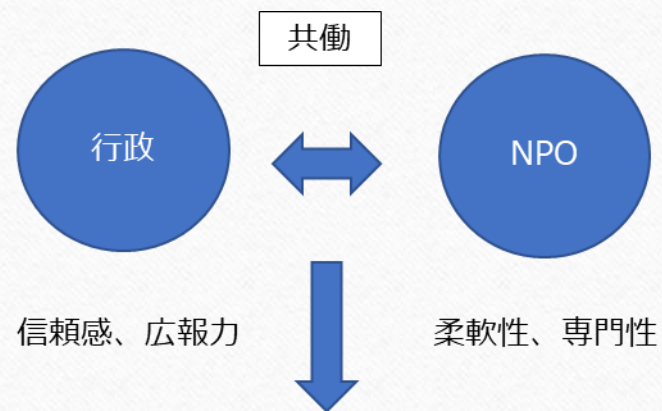
解決方策

- 地域の居場所・つながりづくり
- こども食堂
 - フードパントリー・・・

事業の目的

- すべての子どもたちに、人や社会と関わる力、社会で自分らしく生き抜く力を伸ばす支援を、行政、地域、NPOなど市民の方々と共働で取り組み、**「地域みんなで子どもを守り、育てる社会」**をつくることで、子どもの貧困問題の解消を目指していきます。

共働事業の基本スキーム



多様化する市民ニーズに、スピード感を持って対応し、広範で複雑化する地域課題に向け積極的に取り組む

事業の取組み

こども食堂ネットワーク会議

- (R5年度)第1回、第2回会議 発足式・意見交換会等
- (R6年度)第3回、第4回会議 事例報告、意見交換会
- (R7年度)第5回、第6回会議 講演、意見交換会

コーディネーター業務

- こども食堂からの運営に関する相談（公民館を含む）
- こども食堂マップ・マニュアル作成のデータ収集

実行委員会

(R5年度:11回開催、R6年度:8回開催、R7年度:5回開催)

ひとり親家庭へのサポート

- おれんじパントリー
(3か年合計：開催数53回、配布数1,558世帯)

こども食堂マニュアル・マップの作成

- 大野城市版マニュアル：
「子育てで困っている人」向けの相談機関を記載
- マップ作成、HPへ掲載

令和5年度 こども食堂ネットワーク会議

第1回 令和5年7月24日(月)：まどかぴあ

第2回 令和5年12月7日(木)：大野城心のふるさと館



㊦コーディネーターの任命
㊧参加者による意見交換



ふれあい平野食堂の事例報告
(平野台区 永野元生区長)



参加者全員の集合写真
(計78名参加)

令和6年度 こども食堂ネットワーク会議

第3回：令和6年7月24日(水)：大野城市総合福祉センター

第4回：令和7年2月14日(金)：大野城市総合福祉センター



大西良准教授による基調講演及び意見交換会



事例発表

令和7年度 こども食堂ネットワーク会議

第5回：令和7年7月30日(水)：大野城市総合福祉センター

第6回：令和8年1月29日(木)：まどかぴあ



㊤参加者36名の集合写真
㊦意見交換会の様子



㊤小柳係長（こども家庭センター相談支援
担当）の講演
㊦参加者による意見交換会



こども食堂ネットワーク会議

参加者のアンケートから

- ・ こども食堂の安定的な運営については、「できている」「おおむねできている」と回答した人が70%、「できていない」と回答した人は10%。
- ・ 課題や困りごととして、物価の高騰、運営スタッフや食材の不足、周知や広報活動の方法が分からない、衛生管理の問題、運営資金の不足があげられている。
- ・ 「困りごとを抱えた子についての話をもっと聞きたい。」「困りごとを抱えた子について、これからのこども食堂の活動の中で気にかけていきたい」との声。
- ・ 講演会で「支援が必要なこども」や「気づき」の大切さについて学ぶことができ、意識と知識の向上に繋がった。

コーディネーター業務



【こども食堂との情報交換】

- ・ふくおか筑紫フードバンクの事務手数料導入についての調整
- ・大野城市地域活動統合補助金を活用した公民館におけるこども食堂の運営についての意見交換
- ・こども食堂マップの作成に向けたデータ収集



【こども食堂開催にあたってのアドバイス】

- ・食材のリクエスト方法
- ・使用する食器の確認
- ・学校や地域との連携
- ・人員確保のための情報提供
- ・衛生管理指導
- ・こども食堂開催後の報告管理



【視察対応等】

- ・福岡県コラボステーション地域貢献ツアー視察受入れ
- ・県立高校の研究発表のためのボランティア活動受入れ
- ・プサンとの国際交流事業視察受入れ
〈写真は千葉県市原市議会視察対応〉

ひとり親家庭へのサポート (おれんじパントリー)

ひとり親家庭へのサポート事業のスキーム

こども食堂開催の企画、チラシ作成



ひとり親家庭（児童扶養手当受給世帯）へこども食堂のチラシを送付



チラシを見たひとり親家庭がこども食堂を利用 ⇒ 利用者（ひとり親世帯）からの相談受付



利用者（ひとり親世帯）からの相談をケースごとに担当課につなぐ



食の応援が必要なひとり親家庭の皆様へ
おれんじパントリー
食材や日用品を無料配布
希望されるご家庭を募集します！

配布場所：①御笠川2丁目（Iraire Company）
②つつじヶ丘2丁目（ファミリー交流センター）
配布日：月1回程度（上記の場所の1か所で受取り）
配布食材：レトルト食材、飲料水、お米など
こども食堂に寄贈された食材（ふくおか県フードバンク協力）
申込方法：下のQRコードを読み込み、公式LINEに①お名前
②お住まいの地域 ③受取場所の番号 ④子どもの
人数と年齢 以上を記入して、送信してください。
その後、パントリーの情報を送ります。

※申し込みをされた方の個人情報、特定非営利活動法人チャイルドケアセンターが取り扱うこと
になります（この目的以外には使用しません）。
※おれんじパントリーは、ひとり親家庭に限定したパントリーです。このチラシが届いた方のみ、
申し込みができます。

公式LINEに登録
してほしいよー

LINE登録ができない場合の連絡先
特定非営利活動法人チャイルドケアセンター
メール: kyoudou@npo-ccc.net
連絡先: 092-589-8688

この取り組みは、大野城市と特定非営利活動法人チャイルドケアセンターが大野城市共働基制度を
活用して「子どもたちの夢と希望を輝かせる子どもの初体験づくり事業」として行うものです。



④おれんじパントリーの案内チラシ
⑤すこやか交流プラザでの受取りの様子

ファミリー交流センターとすこ
やか交流プラザで計53回開催、
延べ1,558世帯（3か年）に支
援品を配布

ひとり親家庭へのサポート (おれんじパントリー)



利用者の声 (一部)

- ・野菜は嬉しい。大きな立派な野菜で嬉しい。
- ・お菓子がうれしい。子どもが袋を覗くのを楽しみにしている。
- ・お米が安くないから困っている。
- ・行政に何とかしてほしい。
- ・子どもが18歳なので、いろいろな行政サービスが終了することが怖い。この先、進学などでどんどん高額な費用がかかってくるのにどうやって生活していけばいいかわからない。
- ・いつもおれんじパントリーのおかげで助かっている。本当に生活が厳しい。
- ・冷凍食品は高価なので嬉しい。
- ・賞味期限が迫っているものでも嬉しい。
- ・こんな生活がいつまで続くのか、全然楽にならないし、物価高騰で、どんどん厳しくなっている。
- ・小学生の子どもがいる。好きなことをさせたい。しかし、習い事に通わせることができない。親が連れて行かないといけないから、仕事があるので送り迎えができない。南地区は路線バスも少ないし、小学生が自分一人で利用できる公共交通機関がない。

こども食堂マニュアルの作成

〈発行〉
大野城市共働事業提案制度
子どもの居場所づくり事業実行委員会

発行 2025年2月発行 初版 2023年3月
 改訂 2024年3月
 改訂 2025年2月
 改訂 2026年3月

参考文献
 厚生労働省HP

(本マニュアルを無断で転載されることを禁止します)



気になるこどもや家庭からの問い合わせ等の対応について

日頃より、本市のこどもたちの健やかな成長と安全を守るためにご協力いただきありがとうございます。

こどもを取り巻く環境は様々で、いろいろなご家庭があります。地域のこどもと関わる中で、心配ごとを抱えている様子がみられたり、問い合わせ等があった際には、下表を参考に、こどもや保護者にご案内いただきますようお願いいたします。

相談先	こんなとき	だれが
自由に遊べる場所を知りたい		小中学生
		中学生～29歳までの若者

なお、相手の心情やプライバシーに配慮し、無理に聞き出そうとしたりせず、聞いた内容は、必要最低限の情報共有や報告にとどめ、噂話やSNSなどで情報を拡散しないようにしてください。

また、相談先や対応がわからない場合は、こども・若者政策課 (TEL: 580-1912) までお問い合わせください。

どこに	問い合わせ先
コミュニティセンター (アンビシャス広場)、公園・公民館 (地域による)	TEL: 580-1912 (こども・若者政策課 こども政策担当)
青少年の居場所ユープレ	TEL: 580-1811 (こども・若者政策課 居場所づくり担当)

食品提供について

▶食中毒を予防する観点から、以下のメニューについては、フードバンクからの食品提供を行わないことといたします。

- おにぎり (子どもが自分で握る場合も含む)
- 流しそうめん (※にゅうめんは提供可)
- 冷やし中華 (※野菜の生食が含まれるため)
- 生野菜を使用したサラダ

※保健所の指導に基づいております。
 ※食品衛生に関する疑問や質問等は各自筑紫保健所へお尋ねください。



- 食品提供で注意すべき点を具体的に記載
- 「子育てで困っている、不安感がある」などの対応について行政機関等への問い合わせ先を記載

こども食堂マップの作成



大野城市 こども食堂一覧		
1 みずはまちこども食堂 <small>開催場所</small> 南松尾駅前和寮(南松尾1-2-20) <small>開催日時</small> 毎月第2土曜日11:30~13:00 <small>問い合わせ</small> 092-502-8822	9 中大利公民館子ども食堂 <small>開催場所</small> 中大利公民館(中央1-2-15) <small>開催日時</small> 毎月第2土曜日10:00~11:00 <small>問い合わせ</small> 092-571-4322	18 ほら食堂 <small>開催場所</small> 大塚4-19-2 <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> —
2 ぽっかぽかふよ <small>開催場所</small> ファミリー支援センター(ツツジ2-5-1) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-569-8468	10 大池区こども食堂 <small>開催場所</small> 大池公民館(大池2-2-2) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-504-1384	19 畑地区おたのしみ食堂 <small>開催場所</small> 畑地区公民館(中畑2-9-12) <small>開催日時</small> 毎月11:00~13:00 <small>問い合わせ</small> 092-571-0440
3 わくわくこども食堂 <small>開催場所</small> ファミリー支援センター(ツツジ2-5-1) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-569-8468	11 えびすこども食堂 <small>開催場所</small> 箕輪南公民館(箕輪南3-3-7) <small>開催日時</small> 毎月第4土曜日11:30~14:00 <small>問い合わせ</small> 092-591-4074	20 牛野公民館パントリー <small>開催場所</small> 牛野公民館(大字牛野1357-5) <small>開催日時</small> 毎月第4土曜日 <small>問い合わせ</small> 092-594-3513
4 ほっとー息こども食堂 <small>開催場所</small> 大野城市中央1-3-44 <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-502-8822	12 母子会ハッピー♪ <small>開催場所</small> 総合福祉センター南(南2-3-2) <small>開催日時</small> 毎月第2木曜日18:00~20:00 <small>問い合わせ</small> —	21 ふれあい平野食堂 <small>開催場所</small> 平野公民館(中野か1-20-7) <small>開催日時</small> 毎月4日 <small>問い合わせ</small> 092-594-3539
5 ほっとー息こども食堂 <small>開催場所</small> 大野城市中央1-3-44 <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-502-8822	13 つつじ丘わくわく食堂 <small>開催場所</small> つつじ丘公民館(つつじ丘1-30) <small>開催日時</small> 毎月2日~3日 <small>問い合わせ</small> 092-594-0027	22 [(キラキラ)T(楽し)N(ニコニコ)フランダース] <small>開催場所</small> 南-1公民館(南-12-19-1) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 090-2501-1017
6 乙金ふれあい食堂 <small>開催場所</small> 乙金公民館(乙金3-5-43) <small>開催日時</small> 11月14日土曜日10:00~13:00 <small>問い合わせ</small> 092-503-8812	14 中こども食堂おむすび <small>開催場所</small> 中3-3-25 <small>開催日時</small> 毎月2日(第2木曜・その他) <small>問い合わせ</small> 090-9542-1291	23 乙金区かごめ食堂 <small>開催場所</small> 乙金公民館(乙金2-5-18) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-504-1870
7 キッチン兼大利 <small>開催場所</small> 中大利公民館(東大利1-12-5) <small>開催日時</small> 不定期 <small>問い合わせ</small> 092-571-4322	15 大人食堂なごみ <small>開催場所</small> 白木原2丁目 <small>開催日時</small> 毎月第3土曜日11:00~12:00 <small>問い合わせ</small> —	24 子供食堂三満 <small>開催場所</small> 若菜3-13-15 <small>開催日時</small> 毎月土曜日11:30~14:00 <small>問い合わせ</small> 090-9473-6499
8 みんなの食堂ボラリス <small>開催場所</small> 下大利南公民館(下大利南4-2) <small>開催日時</small> 毎月2日 毎月第2日 <small>問い合わせ</small> 092-573-8440	16 白木原ニコニコ応援団 <small>開催場所</small> 白木原公民館(白木原1-5-5) <small>開催日時</small> 毎月第3日曜日11:00~12:00 <small>問い合わせ</small> —	
24 子供食堂三満 <small>開催場所</small> 若菜3-13-15 <small>開催日時</small> 毎月土曜日11:30~14:00 <small>問い合わせ</small> 090-9473-6499	17 上大利公民館食堂 <small>開催場所</small> 上大利公民館(上大利2-18-1) <small>開催日時</small> 2月~7月 <small>問い合わせ</small> 092-594-4484	

- ・大野城市内のこども食堂の開催場所、開催日時、問合せ先を掲載。(掲載可能なこども食堂のみ)
- ・大野城市とチャイルドケアセンターのホームページにアップ

目標と成果

	R5年度	R6年度	R7年度
目標① 運営の課題が減り、安定的に運営ができていると考えるこども食堂の割合	82% (R6.7月調査)	76% (R7.2月調査)	80% (R8.1月調査)
目標② 大野城市版「こども食堂マニュアル」の作成	作成	更新	更新
目標③ サポート事業でつながることによって、安心感を得たひとり親世帯等の割合	74% (R6.7月調査)	65% (R7.5月調査)	69% (R8.3月調査)
目標④ こども食堂マップの作成	—	作成	更新

令和7年度の成果

● 目標①について

こども食堂の運営に関する主な課題はスタッフや食材、資金不足、周知や広報活動に関すること。こども食堂ネットワーク会議の意見交換会で運営と支援側で課題の解消方法を検討・共有することで数値がわずかに改善した。

● 目標③について

サポート事業（おれんじパントリー）は、利用者から多数の感謝の声はあったものの、物価高騰等の影響が大きく、数値的にはわずかな上昇に留まった。

各事業の総括

(1) こども食堂の運営支援

①大野城市こども食堂ネットワーク会議の開催

こども食堂に関する情報提供・連携強化・課題解決に繋がる場を提供。

⇒今後は、「こども食堂ネットワーク」を活用し、市が主体となり、こどもの居場所に
対象範囲を拡大したネットワークの構築を推進。

②こども食堂コーディネーター業務

運営団体への情報提供・助言を通じて、開催数及び開催場所の増加に寄与。

⇒今後は、NPOが専門的な知識とノウハウを活かし、可能な範囲で運営をサポート。
市は、令和8年度よりこども食堂の開催情報等をホームページ等で定期的に発信。

各事業の総括

(2) ひとり親家庭などへのサポート事業

おれんじパントリーの取り組みにより、ひとり親家庭の経済的・精神的安心に寄与。
市の施設を使用したことで行政が直接市民の声を聴くことができた。

⇒ 今後は、市と連携し、NPOが主体的に事業を継続。

(3) こども食堂マニュアル・こども食堂マップの作成・更新

マニュアル及びマップの作成・更新を通じてこども食堂の運営を活性化。

⇒ 今後は、市が主体となって、NPOと確認・共有しながら内容を更新。

各事業の総括

(4) 公民館を活用したこどもの居場所づくりにつながるこども食堂の実施

補助事業の創設により、公民館でのこども食堂開催数が増加し、地域の意識が向上。

⇒ 今後は、市が公民館への支援を含め、こどもの居場所について方針を策定。

(5) 制度の隙間を埋める支援

ネットワーク会議や研修課により、運営スタッフが「貧困問題等の相談窓口でもある」という意識に変わった。

⇒ 見える形での効果には結びつかず、貧困問題の根本的な解決には至らず。

事業を終えて

● 効果

- ・ こども食堂の運営支援により、運営の活性化や運営側と支援側の連携や運営団体同士のつながりが強化された。
- ・ 市とNPOが共働でおれんじパントリー事業に取り組んだことで、利用者からの安心感に繋がった。
- ・ コーディネーターを市長が任命したことで、こども食堂からの信頼感が向上した。
- ・ 市の広報誌にネットワーク会議の開催について掲載したことで、市民への広く周知でき、関心が高まった。

事業を終えて

● 課題

- ・ こども食堂は貧困世帯のみを対象とはしていないため、参加したこどもたちの家庭環境等の把握が困難である。
- ・ こども食堂の取り組みのみでは、十分な支援は行えず、こどもの貧困問題の根本解決にはならない。

⇒こども食堂に参加したこどもから、家庭で十分な食事ができていない話がでて、関係機関へとつ

なぎ、継続的な支援を行っている事例もあり、支援が必要なこどもを関係機関につなぐ地域拠点

としての機能はある。

事業を終えて

● こども・若者政策課の視点

こどもの貧困対策には、こども食堂だけではなく、多様な「こどもの居場所」からのアプローチが必要。

こどもの居場所を拡大・充実させることで、地域とのつながりが生まれ、貧困問題だけでなく、精神的・社会的な課題にも幅広く対応できる可能性がある。

⇒こどもの居場所に関する方針を定め、こども食堂を含む居場所の質的向上を図り、必要な運営支援等を行う。

事業を終えて

●NPO法人チャイルドケアセンターの視点

事業を通じて、家庭環境や貧困、孤立といった複合的な課題が明らかとなり、こども食堂の取組のみでは対応が困難。

こども食堂の枠組みを超えた支援が必要との見解が示されたが、具体的な対応の方向性や行政と民間の役割分担、継続的な支援体制の構築について、十分な整理がなされていない。

⇒具体的な施策や体制整備に向けた検討に至っておらず、こども食堂の持続的な運営や、今後の方向性について課題が残る形となった。

3年間の共働事業を通じて

NPOとして、3年間のこども食堂事業やおれんじパントリーの実績からも、行政の広報力による事業周知、行政と共働で行っている事業に対する市民の信頼感を実感できた。

また、行政としても、NPOと共働で事業を実施することで、NPOの専門的知見やノウハウを間近で体感することができ、現場の実態を見ることができた。

一方で、行政の弱みである機動性の結果、課題に対する十分な対応が行えず、NPOの弱みである資金不足についても課題が残る形となった。

共働事業は終了となるが、本事業を通じて築いた関係性をもとに、今回明らかとなった課題について、行政とNPOが更に連携・協力し、「地域 みんなでこどもを守り、育てる社会」に向けて支援体制等の整理を進めていく。